

# 会 議 録

会議名	令和3年度第3回相模原市障害者自立支援協議会全体会議		
事務局 (担当課)	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 電話 042-758-2121		
開催日時	令和4年3月24日(木) 午前10時から午後0時15分まで		
開催場所	Teamsを活用したオンライン会議		
出席者	委員	出席 17人 欠席 2人	
	その他	8人 各部長 4人 福祉基盤課 3人 高齢・障害者福祉課 1人 地域包括ケア推進課 1人	
	事務局	6人 市：高齢・障害者福祉課 3人 社会福祉事業団：生活相談課 4人	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0名
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	1 開 会 2 議 題 (1) 各部会の活動について(報告) (2) 日中サービス支援型グループホーム評価ワーキングについて(報告) (3) 医療的ケア児等コーディネーターの配置について(報告) (4) 地域生活支援拠点等の整備状況について(報告) (5) 共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランにおける成果目標の進捗状況について(報告) (6) 協議会後援研修「相模原市の地域課題について考えよう」について(報告) (7) ウィズコロナのこれまでとこれから(意見交換) 3 その他 4 事務連絡 5 閉 会		

令和3年度第3回相模原市障害者自立支援協会委員名簿及び出欠状況

No.	区 分	所属・職	氏 名	出欠
1	障害者等関係団体	相模原市障害福祉事業所協会 会長代理 (ワークショップ・フレンド 施設長)	やじま まさき 矢嶋 正貴	欠
2		相模原市障害福祉事業所協会 代表総務 (くりのみ学園 園長)	いまい やすのり 今井 康雅	出
3		相模原市障害福祉事業所協会 人権委員会委員 (城山障害者デイサービスセンターつくしの家 統括責任者)	きづ よしえ 木津 芳枝	欠
4		相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長代理	おの あきこ 小野 明子	出
5		(福)相模原市社会福祉協議会 南区事務所長	あべ ゆきお 阿部 幸夫	出
6		相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	きたがわ はるえ 北川 春恵	出
7	指定相談支援事業者	橋本障害者地域活動支援センター ぷらすかわせみ 施設長	なかたに まさよ 中谷 正代	出
8		子ども相談支援リボン (NPO法人ワンダートンネル理事長)	ちや ふみこ 千谷 史子	出
9	障害者等及び その家族	(特非) 相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 副会長	はねだ ひさし 羽田 彌	出
10		(特非) 相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 理事	かたおか かよこ 片岡 加代子	出
11		(特非) 相模原市障害児者福祉団体連絡 協議会 理事	まつばら みちこ 松原 充子	出
12	保健・医療関係者	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 (北里大学病院トータルサポートセンター ソーシャル ワーカー)	だいなか たく 提中 拓	出
13	教育関係機関の職員	神奈川県立相模原中央支援学校 総括教諭	しまづ ようこ 島津 陽子	出
14		教育局学校教育部学校教育課長	まつもと よしかつ 松本 祥勝	出
15	関係行政機関の職員	健康福祉局地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課長	たかもと たつひこ 高本 辰彦	出
16		健康福祉局地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課長	よねやま まもる 米山 守	出
17		健康福祉局地域包括ケア推進部 精神保健福祉課長	すずき まさふみ 鈴木 雅文	出
18		こども・若者未来局陽光園所長	あまの とおる 天野 徹	出
19	学識経験者	田園調布学園大学 教授	むらい ゆういち 村井 祐一	出

(各部会長の出欠状況)

人材育成部会	県央福祉会	えびさわ ゆうじ 海老沢 祐次	出
権利擁護・虐待防止検討部会	高齢・障害者福祉課	はば けんご 羽場 建護	出
中央区課題検討会	児童発達支援センター青い鳥	もりや ひさし 守屋 久	出
地域課題調整部会 南区課題検討会	南障害者地域活動支援センター	ほりこし えみこ 堀越 恵美子	出

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開 会

村井会長より、開会の挨拶があった。また、事務局より、次のとおり報告を行った。

(事務局)

相模原市障害福祉事業所協会からは、中島博幸氏の代わりに矢嶋正貴氏が委員として出席予定であったが、本日は都合により欠席となっている。また、相模原市障害者地域作業所等連絡協議会からは、西村三郎氏の代わりに小野明子氏が委員として出席している。

### 2 議 題

(1) 各部会の活動について (報告)

ア 緑区課題検討会

資料P. 9～12に基づいて、中谷部会長より報告があった。

イ 中央区課題検討会

資料P. 13～24ページに基づいて、守屋部会長より報告があった。

ウ 南区課題検討会

資料P. 25～32に基づいて、堀越部会長より報告があった。

エ 権利擁護・虐待防止検討部会

資料P. 33～52に基づいて、羽場部会長より報告があった。

オ 地域課題調整部会

資料P. 53～58に基づいて、堀越部会長より報告があった。

カ 中央障害者相談支援キーステーション設置検討ワーキング

資料P. 59～74に基づいて、事務局より報告があった。

キ 人材育成部会

資料P. 75～82に基づいて、海老沢部会長より報告があった。

意見等は次のとおり。

(千谷委員)

私は緑区で児童の相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所を運営している。原則として18歳までの障害児を対象としているが、保護者にも障害があったり、本人に身近な相談相手がいなかったりする場合は高校卒業後も対応を行っている。このようなケースの対応を行っても、事業所としては計画相談支援としての関わりではないため収入はない。ボランティア状態で対応しているケースの中には、「社会の役に立ちたい」、「社会の一員として認められたい」という気持ちが強いために障害を受容できない人がおり、こういった方々にとって社会的な居場所がなければ将来的に8050問題につながる可能性もあると考えている。障害当事者が社会の中で輝くための相談を身近ででき、相談に応じた事業所はきちんと収入を得られると良いと考えており、相模原市にもこのような視点を持ってもらいたい。また、事業所で関わっている緑区の人々のケースは、緑障害者相談支援キーテーションからスーパービジョン等の支援を受けられるが、中央区の人々のケースは、中央区に障害者相談支援キーテーションがないためこうした支援を受けられない状況である。このような現状を踏まえて、改めて障害者相談支援キーテーションの役割を伺いたい。

(村井会長)

現在、中央区への障害者相談支援キーテーションの設置を検討するにあたり、ワーキングを立ち上げて協議を行っているが、議論を重ねる中で、障害者相談支援キーテーションに対する万能性や総合性が求められる状況によって、非常に負担が大きいことが明らかになった。相模原市における障害者相談支援体制については3層構造となっているため、各層がきちんと機能できるように役割を分散させた上で、円滑に連携しながら問題解決に取り組める体制が望ましいと考えており、ご意見にあった「社会の役に立ちたいと考えている人」が望んだ結果を出せるように体制を整備していきたい。しかし、現実問題としては、第1層を担う指定特定相談支援事業所に対する報酬面でのインセンティブが弱く、基本相談支援が十分に行われないこともあり、第2層の障害者相談支援キーテーションが第1層の役割も担わなければならない。こうした背景を踏まえて、今後各層の役割分担を行っていく必要があるため、障害者相談支援キーテーションの役割については、改めて共有する場を設けたいと考えている。この件については、継続審議として引き取らせてもらう。

(村井会長)

各部会の活動について報告いただいたが、この場は各部会から一方的に報告をもらうのではなく、各部会と全体会議の間で双方向のやり取りが行われることを期待している。全体会議については、各部会の取り組みをより一層推進で

きるよう、各部会の活動に対して幅広い意見を伝えたり、承認や協力を行った  
りする場にしたい。

(2) 日中サービス支援型グループホーム評価ワーキングについて（報告）

資料P. 83～84に沿って、福祉基盤課より報告があった。意見等は特になし。

(3) 医療的ケア児等コーディネーターの配置について（報告）

資料P. 85～88に基づいて、高齢・障害者福祉課より報告があった。意見等は次のとおり。

（村井会長）

相模原市の医療的ケア児等に対する非常に重要な話であり、子ども子育て支援事業計画にも密接に関わっている案件である。協力して進めていきたいと考えている。中央区に住んでいる医療的ケア児等についての相談については、既存の障害者相談支援キーテーションが分担して受ける体制となっているため、改めて中央区に障害者相談支援キーテーションが必要だと感じた。

(4) 地域生活支援拠点等の整備状況について（報告）

資料P. 89～92に基づいて、高齢・障害者福祉課より報告があった。資料P. 89の9行目について、「障害者施策推進協議会」を削除し「障害者自立支援協議会」を追記するよう資料修正の案内があった。意見等は特になし。

(5) 共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランにおける成果目標の進捗状況について（報告）

資料P. 93～98に基づいて、地域包括ケア推進課より報告があった。意見等は次のとおり。

（村井会長）

大変有意義な報告であったと感じている。当協議会がこれまで課題としてきたことと、共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランの推進の中で課題とされてきたことが一致していることが確認できたため、今後は具体的な連携を充実させていきたい。

(6) 協議会後援研修「相模原市の地域課題について考えよう」について（報告）

資料P. 99～100に基づいて、事務局より報告があった。意見等は次のとおり。

(村井会長)

地域課題に対しては地域で解決できるものは地域で解決し、それでは難しい場合には、上位の層での解決につなげていくような構造の支援体制が必要である。自治会や民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会等の地域にある社会資源が連携し、課題解決に臨めるような体制を目指すと同時に、これらの社会資源のコーディネートをどこが担うのかを検討する必要がある。

(7) ウィズコロナのこれまでとこれから (意見交換)

意見等は次のとおり。

(村井会長)

各委員より、コロナ禍における取り組みについて情報提供してもらった上で、今後の当協議会におけるウィズコロナの運営を検討したいと考えて議題とした。現在、当協議会はウィズコロナとして、情報通信技術の活用によるウェブ会議等を開催し協議を継続しているが、このような好事例を相模原市全体として共有できると良い。本日は意見交換の時間を持てなかったが、後日書面会議として各委員から意見を募りたいと考えている。

3 その他

(1) 福祉の仕事・魅力発信事業（キャリア教育推進事業）について

このことについて、前回今井副会長より相模原市社会福祉協議会所属の阿部委員に対して質問があったため、この場で回答をしていただくことを事務局より案内した。

(阿部委員)

資料P. 4に記載のとおり、現在も相模原市社会福祉協議会で福祉の仕事・魅力発信事業（キャリア教育推進事業）を実施していることを報告させていただく。

(今井副会長)

現在も事業が継続されているとのことで良かったと思う。この件について、資料P. 3に記載されている内容が私の質問した内容と異なっているため、修正をお願いしたい。

(事務局)

内容について確認し修正させていただく。

⇒ 資料P. 3について、「○ 市社会福祉協議会で以前、福祉人材育成のために、大学生や高校生が施設で体験実習をすることができる取組を実施していたが、現在はどのようなになっているのか。」を削除し、「○ 市社会福祉協議会で以前、大学生や高校生などに対して、福祉施設の職員から現場の魅力伝えてもらう取組を実施していたが、現在はどのようなになってい

るのか。」を追加することになった。(後日、今井副会長に確認済み)

(2) 相模原市立城山障害者デイサービスセンターつくしの家の廃止について

このことについて、指定管理者である特定非営利活動法人福祉協会しろやまと協議を重ねた結果、令和5年2月末をもって廃止する方向である旨の報告が高齢・障害者福祉課よりあった。

(3) 合理的配慮の事例集について

このことについて、昨年6月の改正にて民間事業所に対しても合理的配慮が義務化されたことを受け、関係団体等の協力を得ながら相模原市として作成しているため、完成次第、各委員に配布する旨の報告が高齢・障害者福祉課よりあった。

(4) 高次脳機能障害のリーフレットについて

このことについて、ぷらすかわせみの協力を得ながら作成しているため、完成次第、各委員に配布する旨の報告が高齢・障害者福祉課よりあった。

4 事務連絡

人事異動により、4月より事務局の担当者が変わる旨の連絡が事務局よりあった。

5 閉会

千谷委員より、閉会の挨拶があった。

以上